

第十節 明治四十三年

明治四十三年度東京美術學校年報

甲 款

概況

明治四十三年十月四日例ニ依リ本校設置紀念式ヲ舉行ス

同年十一月二十日本校長正木直彦英國ヨリ歸朝ス

明治四十四年一月廿五日午前零時二十分不幸ニシテ火ヲ失シ本校

校舎ノ中木造建物九棟煉瓦造倉庫一棟（此坪數千七十六坪五合）

及圖書標本ノ一部分ヲ焼失ス

同年三月二十九日午前十時ヨリ第二十回卒業証書授與式ヲ行ヒ卒

業成績ヲ陳列シテ來賓ノ觀覽ニ供シ同日午後並ニ翌三十日ハ本校

關係者ニ縱覽セシム

日本畫科西洋畫科彫刻科ノ改築工事ハ大半竣工シタルモ年度内ニ

於テハ未タ落成ヲ見ルニ至ラス

規程

明治四十三年十一月一日文部省令第二十七号ヲ以テ本校圖書師範

科規程學科目中「倫理」ヲ「修身」ト改メラル

設備

記スヘキ事項ナシ

職員

本校職員ノ俸給及諸給ハ目下ノ豫算ニテハ常ニ不足ヲ告グルノミ

ナラス嚮ニ行ハレタル官吏ノ増俸ニ伴ヒテ益甚シキヲ加ヘタリ
之レ他ノ直轄學校ニ比シテ平均額低キニモ依ルヘク各科増設ノ際
割合ニ増員ノ少キニモ由ルベシ 故ニ豫算ヲ増額セラレシコトハ
切ニ望ム所ニシテ洵ニ急要ノ事項タリ

本年度ニ於ケル職員ノ數ハ教授二十三人助教十八人書記五人嘱
託講師十人同教員六人同醫師一人副科嘱託三人教務雇五人事務雇
九人ニシテ之ヲ前年度末ニ比スレハ教授ニ四人ヲ嘱託講師ニ一人
ヲ同醫師ニ一人ヲ事務雇ニ一人ヲ増シ助教授ニ一人ヲ教務雇ニ二
人ヲ減セリ 此内教授ノ増員ハ留學生ノ歸朝ト新任及休職者ヲ復
職セシメタルニ依レリ

外國留學生ハ本年度末ニ於テハ助教授一人ニシテ前年度末ニ比ス
レハ其數相同ク唯教授ト助教授ト異レルノミナリ
休職員ハ教授二人ニシテ之ヲ前年度末ニ比スレハ教授助教授各一
人ヲ減セリ

生徒

全体ニ於ケル生徒ノ操行學力健康ニ於テハ前年度ニ比シテ著シキ
差違ナク新入學生モ亦前年ニ比シテ差違ヲ認メス
本年度新入學者ハ本科六十五人撰科二十人圖書師範科二十四人研
究科十八人ニシテ其入學者ノ學力ノ程度ハ本科生ニアリテハ官公
立中學校卒業生三十七人私立中學校卒業生十三人師範學校卒業生
一人府縣立工藝學校卒業生十二人同工業學校卒業生二人、撰科生
ニアリテハ私立中學校二學年修了者三人府縣立工藝學校卒業生二
人高等小學卒業生九人同程度ニ依リテ試験ヲ施シ入學ヲ許シタル
モノ四人又外國人ニシテ同科ヘ入學ヲ許シタルモノハ清國人二人
ナリ 圖書師範科生徒ニアリテハ師範學校卒業生八人官公立中學

校卒業者十六人 研究科生ハ孰レモ本校卒業生ノ入學シタルモノナリトス

新入學生ノ年齢ハ本科生ハ最高二十六年二月最低十七年平均二十一年撰科生ハ最高二十六年四月最低十七年四月平均二十一年圖書師範科生ハ最高二十五年三月最低十八年六月平均二十二年五月研究科生ハ最高二十八年最低二十四年四月平均二十六年七月(何レモ外國人ヲ除ク)ナリトス

生徒ノ入退學ハ本年度入學者ハ本科六十五人撰科二十人圖書師範科二十四人研究科十八人再入學者一人ニシテ退學者ハ病氣退學六人家事係累三十九人除名四人死亡六人豫備科在學資格消滅十人研究科同七人圖書師範科中退學ヲ命シタルモノ四人ナリ 今之ヲ前年度ニ比スレバ入學者ニ在リテハ本科一人撰科ニ七人圖書師範科研究科ニ各一人ヲ減シ再入學者一人ヲ増シ(前年度ナシ)退學者ニアリテハ病氣退學ハ其數同シク家事係累ニ十五人ヲ増シ除名ニ三人ヲ減シ死亡ニ三人ヲ増シ豫備科在學資格消滅ニ二人ヲ研究科在學資格消滅ニ七人ヲ圖書師範科ニ退學ヲ命シタルモノ四人ヲ増シ轉科ニ二人ヲ減シ逐學ハ前年度同シク一人モアルナシ

生徒ノ員數ハ本年度末ニ於テ之ヲ前年度末ニ比スレハ彫刻科ニ二人ヲ鑄造科モ亦二人ヲ撰科ニ五人ヲ圖書師範科ニ二人ヲ増シ圖案科ニ七人ヲ金工科ニ二人ヲ漆工科ニ二人ヲ研究科ニ十八人ヲ減シ日本畫科西洋畫科ハ前年度末ト差違ナク總數ニ於テ差引十八人ノ減員ヲ見ル 而シテ又本校ニ於ケル外國人ヲ擧クレハ撰科生中ニ清國人七人研究科ニ暹羅國人一人アリ

本年度卒業生ハ本科五十三人撰科十二人(内清國人二人アリ)圖書師範科十六人計八十一人ニシテ前年度ニ比スレハ十六人ヲ減セリ 生徒中學術品行殊ニ優等ナルモノヲ撰ヒ明治四十三年九月ヨリ一學年間ノ授業料ヲ免除シ特待生ヲ命シタルモノ計十七人アリテ前年度ニ比スレハ一人ヲ減セリ

生徒中一學年間學業ニ精勵シタルモノヲ撰ヒ之ヲ表彰スルタメニ精勤賞狀ヲ授與セシモノ計二十一人アリテ前年度ニ比スレハ四人ヲ減セリ

實業學校教員養成規程ニ依リ毎月學資トシテ一ヶ月金五圓ツ、ヲ補給シタルモノハ一人ニシテ前年度ニ比スレハ一人ヲ減セリ

圖書師範科生徒ニハ學資トシテ毎月金六圓ツ、ヲ支給ス 其本年度ニ於テ學資ヲ支給シタルモノハ四十九人ニシテ前年度ニ比スレハ一人ヲ減セリ

明治四十四年三月末ニ於テ卒業スベキ生徒ニシテ實地修學ノタメ四十三年九月十二日ヨリ三週間ヲ以テ助教授一人囑託講師二人ヲシテ之ヲ引率セシメ京都奈良滋賀和歌山ノ一府三縣へ出張研究セシメタルコト前年ニ同シ

本校生徒ハ皆通學ナルヲ以テ寄宿舎ニ關シテハ申報スヘキ事ナシ 將來施設上重要ト認ムル件

甲 留學生増派ノ件 (三十九ノ四十二年報告と同文につき省略。)

乙 生徒實地研究費増額ノ件 (四十一、四十二年報告と) 同文につき省略。

丙 建築科特置ノ件 (三十九ノ四十二年報告と) 同文につき省略。

丁 製版科新設ノ件 (四十一、四十二年報告と) 同文につき省略。

戊 陳列館新設ノ件〔同右。〕
雜件

生徒實驗ノ資ニ供スルタメ諸所ノ依囑ヲ受ケ製作ニ從事シタルモノ、中重モナルモノヲ舉グレバ左ノ如シ
依囑製作品一覽

品名	數量	受託年度	竣工未竣工ノ別	依囑者
梵鐘	壹個	前年度	竣工	隆國寺住職 細川祖良
純銀製壽老人置物	壹個	本年度	同	高田隆平
御眞影蒔繪額縁	貳面	同	同	關東都督府中學校
府縣聯合共進會賞牌	貳千九百	同	同	農商務省
容器共〔福岡縣主催〕	六百三十四個	同	同	同
同〔愛知縣主催〕	三十四個	同	同	大阪藤田組 東京出張所
赤銅製臥牛香炉	壹個	同	同	富山縣立砺波中學校
石膏製幾何形体模型及人物像	拾八個	同	同	赤司鷹一郎
銀製花盛器	壹個	本年度	竣工	大分縣宇佐中學校
石膏製標本	貳個	同	同	高橋新吉
三ツ組金盃	壹組	同	同	農商務省
府縣聯合共進會賞牌	參千四百	同	同	東京市長 尾崎行雄
改築日本橋上部	六十個	同	未竣工	高義敬
青銅製電燈柱	壹式	同	同	關東州都督府
曾禰子爵銀像	壹體	同	同	
御眞影蒔繪額縁	五面	同	同	

『東京美術學校校友會月報』記事抜粹

東京美術學校近事〔八一五〕^{卷号} M・四三・一・三一^{年月日}

○職員の休職と渡英 助教授菅野眞氏渡英の事は、前號所載の如くなるが、同氏は昨年十二月十五日休職を命ぜられ、同時に日英博覽會出品協會より事務の囑託を受け、本年一月五日午前八時四十分新橋を發し、加茂丸にて渡英の途に上られたり。

○書記の新任 雇磯野富之助氏は、客歲十二月十五日、本校書記に任じ、文庫掛を命ぜられたり。

○職員の出張 正木〔直彦〕學校長は日英博覽會の用務にて、一月六日より十日間、京都府外一府六縣へ向ひて出張せられ、高村〔光雲〕教授は、内務省古社寺保存會の用務にて、一月二日出發二週間の豫定を以て、京都、奈良、大阪へ出張せらる。

○冬季休業中の職員 黒田〔清輝〕久米〔桂一郎〕兩教授は、伊豆地方へ旅行せられ、和田〔英作〕教授は日光方面へ赴かれ、白山〔福松〕教授は静養のため修善寺へ、岡田助教授〔秋嶺氏〕は大坂地方へ、黒岩〔淡哉〕助教授は千葉縣下へ、島田〔佳矣〕教授は東海道筋へ、白濱〔徵〕教授は三重縣の圖書講習會に聘せられ、八卷〔於菟三〕助手は郷里へ歸省せられ、石川〔光明〕教授は常陸の五浦へ赴かれたりといふ。

東京美術學校近事〔八一六〕 M・四三・三・八

○正木〔直彦〕校長の出發 正木學校長は兼て報道せし如く、日英